



リデュース・リユースを推進します！

- 事業系食品ロスを削減！「チームEat All」
- 「株式会社ジモティー」との連携協定締結により「めぐるまち(循環型都市)“さいたま”」を実現

環境局 資源循環推進部 資源循環政策課

さいたま市の3R推進施策



Reduce
リデュース

ごみを減らす

● 食品ロス削減プロジェクト

家庭系

- Saitama Sunday Soup
(日曜日は食べつくスープ!)
- フードドライブ

事業系

- **チームEat All**

- マイボトル・マイバッグ運動
- 生ごみの水切り促進・
生ごみ処理容器等購入費補助事業

- 環境教育による意識啓発
ごみスクール、出前講座、リサイクル基金
親子リサイクル施設見学事業



Reuse
リユース

繰り返し使う

- リサイクル品展示販売会
- フリーマーケットの後援
- **ジモティーとの連携協定**



Recycle
リサイクル

再生利用する

- 市による資源物収集
 - 資源物1・2類
 - 小型家電リサイクル
- 資源物の分別啓発
 - ごみ分別アプリ
 - 家庭ごみの出し方マニュアル
 - クリーンさいたま推進員
- 団体資源回収運動補助事業

「チームEat All」とは

「チームEat All」は、食品ロスの削減を推進するため、事業者と市でつくる「チーム」です。



もっと！
もったいない
を、モットーに。

食品ロスの削減に取り組む事業者等を
チームEat All参加事業者として登録

チームEat All参加事業者に
食品ロス削減に取り組む旨を
宣言していただく

市と参加事業者の皆様が協働し、
食品ロスの削減施策を一層推進していきます

チームで実施すること

- 市がホームページ等で、**参加事業者による食品ロス削減の取組を紹介**
- 参加事業者はチームの**ロゴマークを事業所やホームページ等に掲示**していただき、食品ロス削減を推進する意思を宣言できる
(参加事業者にはステッカー等の啓発ツールを配付)
- 市と参加事業者による**共同キャンペーン等を実施**（予定）



ステッカー



リーフレット
(イメージ)

参加事業者

令和2年3月4日時点では、以下の事業者が
チームへの参加を表明しています。



参加事業者の募集

チームで連携・協力し、みんなで・ぜんぶおいしく
食べきって食品ロスを出さない社会をつくるため、
ぜひご参加ください！

■参加要件

市内で事業活動等を行っている事業者・事業者組合・特定非営利活動法人等の皆様にご参加いただけます。次に例示する食品ロス削減の取組を行っていただきます。

- ① 食べきり運動の実施
- ② 食べ残しの持ち帰り推進
- ③ 食べきりレシピの作成・推進
- ④ フードドライブの実施
- ⑤ 廃棄食材リサイクルの推進
- ⑥ その他食品ロス削減のための取組

■申込方法

郵送、持参、Eメール、FAXにて随時申込書を受け付けています。申込書の様式など、市のホームページに掲載しています。

チームEatAll



(送付先・担当)

さいたま市 環境局

資源循環推進部 資源循環政策課

〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4

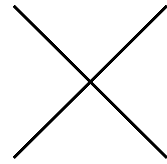
TEL:048-829-1338 FAX:048-829-1991

E-mail: shigen-junkan@city.saitama.lg.jp

リユースの取組強化について



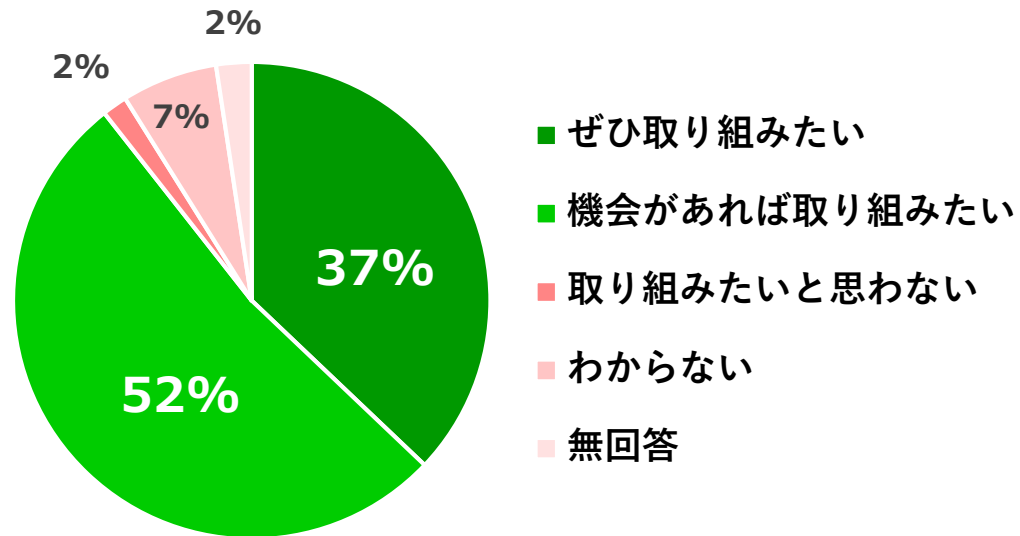
ジモティー



- 令和2年2月27日、地域情報サイト「**ジモティー**」を運営する株式会社ジモティーと連携協定を締結。
- 株式会社ジモティーと、リユースの促進を目的とした協定を締結するのは全国初の事例。
- 市内のリユース活動を促進し、**「めぐるまち（循環型都市）“さいたま”」**の実現を目指します！

さいたま市の現状

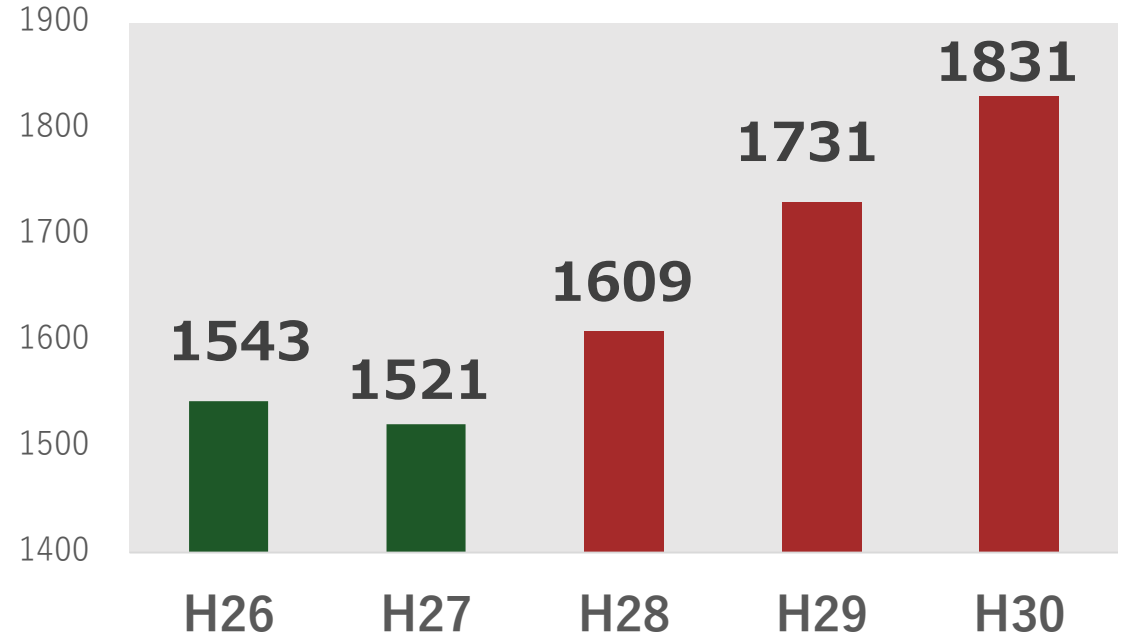
■市民の3Rへの取組意識



さいたま市一般廃棄物処理基本計画改定に伴う市民意識調査(H28)

- 市民意識調査では
約90%が3Rに取り組みたいと回答。
- 日常的に取り組みやすい3Rの方法を市が具体的に示せば、市民の積極的な行動を促進できる可能性が高い。

■粗大ごみ収集量(単位：トン)



- 市民の取組意識は非常に高い一方で、粗大ごみ収集量は

過去3年間で毎年約100トンずつ増加

しており、対策が必要。

リユースの課題

■ 収集された粗大ごみの内訳 (H30年度実績)



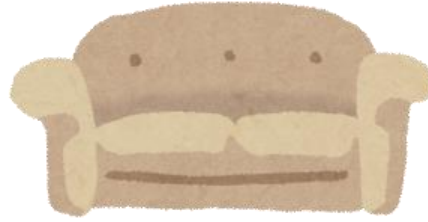
1位：自転車

(10,400台)



2位：ベッド類

(10,068台)



3位：ソファ

(7,577台)



4位：棚類

(7,429台)



5位：テーブル

(3,358台)

課題

- 市は不用家具を無料で回収・修理して入札方式で販売する「リサイクル家具展示販売会」を年4回程度実施。しかし、いつでも気軽に利用できるリユース機会としての市民ニーズに対応することは難しい。
- 市の事業では粗大ごみ内訳ランキング1～3位をカバーできていない

民間企業のサービスを導入し、まだ使える物をリユースする新たなスキームを市民の皆さまに提案することで、行動していただくことが必要！

ジモティーとは

■ 概要・特徴

- 株式会社ジモティーが運営する、同名の地域の情報サイト・アプリ。中古品の譲渡・売買のほか、アルバイト募集、イベント情報など幅広く掲載され、インターネット上の「**地元の掲示板**」として地域で活用されている。
- 市内等に**エリアを絞って検索ができる**
 - ➔ 直接引渡しの際に顔なじみが増えるなど、**地域コミュニティを活性化できる**可能性がある。
 - ➔ 手渡しなら送料が不要

■ 利用の流れ（譲渡・売買の場合）



■ ジモティーのさいたま市内実績

市内投稿の閲覧数

約**200**万回/月

記事の投稿数

約**10,500**件/月

家具・家電の投稿数

約**2,400**件/月

(R2.1月実績)



〈取引品目の例〉

家電…冷蔵庫、洗濯機、テレビなど

家具…テーブル、ソファ、収納家具、ベッドなど

子供用品…衣料、シューズ、食事用品 など

生活雑貨…食器、キッチン雑貨、鍋、グリル など



ジモティーとの連携による効果

ジモティーとの連携により、以下のような効果が見込めます。

「めぐるまち“さいたま”」創造のためには、ごみの減量に向けた市民の利便性の向上を図り、市民と行政が協働して取り組むことが重要です。

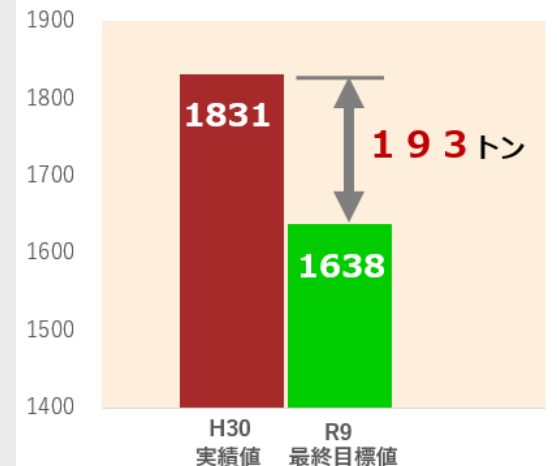
市民

- 不用品を無料で処分できる
- いつでも気軽にリユース活動に参加できる
- 地域コミュニティの活性化

行政

- 廃棄物の発生量削減・処理コスト削減
※H30粗大ごみ処理コストは7,300万円
(1t あたり約4万円)
- 市の負担なくリユース活動を推進できる

■粗大ごみ収集量 (単位:トン)



【第4次さいたま市一般廃棄物処理基本計画】
(平成30年3月策定)

ともに取り組み、参加する
めぐるまち (循環型都市) “さいたま”の創造

今後の連携内容



さいたま市の
「家庭ごみの出し方マニュアル」
「ごみ分別アプリ」等に
ジモティーについて掲載

ジモティーに
市のイベント出展情報を
掲載（フードドライブなど）

共同イベント等を
開催（予定）